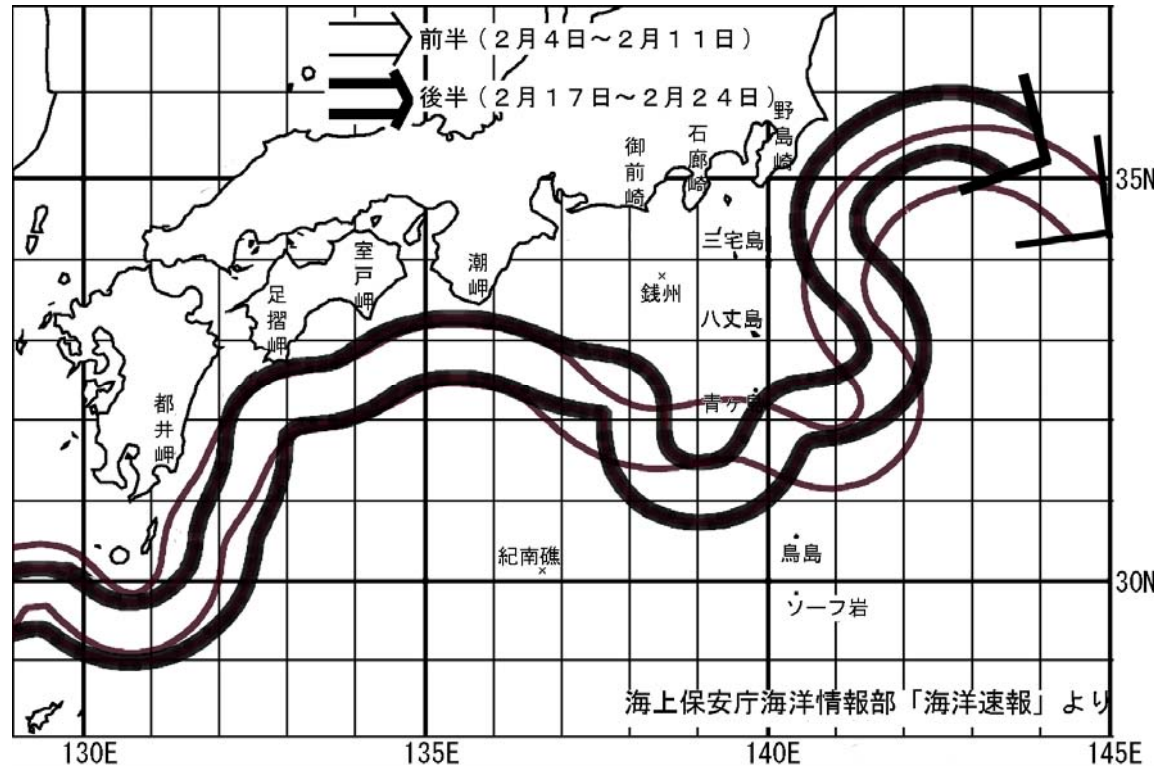


# 漁海況月報

平成21年 2月 1日

No. 2 ~2月28日

静岡県水産技術研究所  
(電話 054-627-1815)  
静岡県水産術研究所 伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

| 期間 | 伊東   | 稲取   | 下田   | 雲見   | 沼津   | 焼津   | 地頭方  |
|----|------|------|------|------|------|------|------|
| 上旬 | 13.1 | 15.0 | 14.3 | 14.8 | 14.3 | 14.4 | 12.1 |
|    | -0.9 | 0.6  | 0.5  | 0.4  | 0.2  | 0.8  | 0.6  |
| 中旬 | 13.8 | 14.6 | 13.9 | 14.5 | 14.8 | 14.6 | 11.5 |
|    | -0.2 | 0.5  | 0.2  | 0.3  | 0.8  | 1.2  | -0.2 |
| 下旬 | 13.4 | 14.4 | 13.8 | 13.2 | 14.0 | 13.7 | 11.6 |
|    | -0.3 | 0.4  | 0.2  | -1.1 | 0.3  | 0.3  | -0.1 |
| 月  | 13.4 | 14.7 | 14.0 | 14.2 | 14.4 | 14.3 | 11.7 |
|    | -0.5 | 0.5  | 0.3  | -0.1 | 0.4  | 0.8  | 0.1  |

## 【黒潮流路】

月前半の黒潮は、都井岬から潮岬を接岸傾向で流去した。その後、遠州灘沖を南東に流れ、31.5° N 付近まで達した後、141° E 付近からS字状に北上した。房総半島沖では離岸傾向で流去した。

月後半の黒潮は、都井岬でやや離岸したが、足摺岬から潮岬にかけて接岸傾向で流去した。その後、遠州灘沖を東南東に流れ、31° N 付近まで達した後、141° E 付近からS字状に北上した。房総半島沖では接岸傾向で流去した。

## 【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾では12~16°C台、駿河湾東部では12~15°C台、西部では10~15°C台で経過した。

9日以降、妻良では暖水の波及により、水温が14°C台から16°C台に昇温した。この影響で駿河湾東部、西部では、中旬の水温が平年並み~やや高めとなったが、月を通じては、各地区ともおおむね平年並みで経過した。

## 【竿釣カツオ】

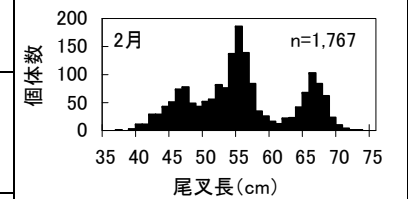
2月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海竿釣り船によるカツオの水揚げ量は280トンで前年同期の11.2倍であった。魚価は246円/kgで、前年同期を下回った。沿岸竿釣り船は水揚げがなかった。

近海竿釣り船は、21°~23° N、135°~138° Eで特大(尾叉長66cmモード)、大、中(尾叉長55cmモード)カツオを漁獲した。また、海形場(瀬)では、キハダに混じり小カツオ(尾叉長47cmモード)を漁獲した。

竿釣りカツオ水揚げ量(近海、県内主要5港)

| 期間       | 水揚げ量(トン) | 水揚げ隻数 | 水揚げ/隻(トン) | 平均単価(円/kg) |
|----------|----------|-------|-----------|------------|
| 21年 2月上旬 | 3        | 1     | 3.0       | 369        |
| 中旬       | 205      | 12    | 17.1      | 222        |
| 下旬       | 72       | 6     | 12.0      | 309        |
| 21年 2月計  | 280      | 19    | 14.7      | 246        |
| 20年 2月計  | 25       | 2     | 12.5      | 414        |
| 19年 2月計  | 157      | 14    | 11.2      | 525        |

(平成21年から沿岸と近海竿釣り船を合計した値を掲載します。)



御前崎港における測定結果

## 【定置網】

平成21年2月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚げ量は284トンで、操業がなかった伊豆山、赤石を除く1漁場当たり水揚げ量47.3トンは前年21.7トン(7漁場)の218%、平年値(昭和57~平成20年)22.3トンの212%であった。

魚種別水揚げ量は、①マアジ69.6トン(A:前年同月比1,258%、B:平年同月比404%)②マイワシ47.0トン(A:7,444%、B:233%)③スルメイカ44.1トン(A:前年55、B:314%)④カタクチイワシ34.9トン(A:104%、B:65%)⑤サバ類28.7トン(A:566%、B:642%)の順であった。

マアジは北川、川奈を中心に入網し、昭和57年以降で2番目に多く漁獲され、尾叉長のモードは

18 cmであった。マイワシは古網、川奈を中心に入網し、被鱗体長のモードは13.5 cmであった。スルメイカは北川、川奈、古網を中心に入網し、昭和57年以降で3番目に多く漁獲され、外套背長のモードは25cmであった。カタクチイワシは古網に集中的に入網し、富戸、川奈に入網したものの被鱗体長のモードは10 cmと12 cmにみられた。サバ類は富戸、川奈を中心に入網し、1月に比べ大きく減少したが、2月としては昭和57年以降で最も多く漁獲された。ゴマサバが中心で、尾叉長のモードはゴマサバ、マサバとも32 cmであり、2007年級群が中心と考えられた。

また、ブリについては「ぶり」銘柄が川奈に集中的に17トン、2,328尾漁獲され、前年の973%、平年の151%と好調であった。平均個体重は7.4 kgであったので、尾叉長80 cm前後の個体と推定される。

その他、ホウボウが12トンと昭和57年以降で最も多く漁獲された。

漁場別水揚量は、川奈96トン（マアジ、マイワシ、サバ類中心）、古網77トン（カタクチイワシ、マイワシ中心）、北川53トン（スルメイカ、マアジ中心）の順であった。

### 【サバたもすくい棒受網】

小川港には、たもすくい・棒受網によってマサバ174トン、ゴマサバ241トン（前年同月比27%）が水揚げされた。1隻あたり水揚量は、マサバが4.8トン/隻で近年では豊漁であった平成19年（5.9トン）をやや下回った。ゴマサバについては、中旬以降にマサバに漁獲努力が傾注されたため、6.7トン/隻（前年同月比18%）であった。マサバの平均単価は457円/kgと堅調で、ゴマサバも75円/kgと前月（53円）を上回った。

たもすくいの漁場は、月を通じてマサバ・ゴマサバ混じりで「ひょうたん瀬」に形成され、本県棒受網船も中旬以降、たもすくいに転換した。棒受網の漁場は、上中旬にゴマサバ主体で三本に形成された。

「ひょうたん瀬」のマサバは、32～33cmモードの2歳魚（2007年級群）と思われる群、36～38cmモードの5歳魚（2004年級群）と思われる群が主体となったが、月後半には前者の割合が増加した。同じくゴマサバは、30～31cmモードの2歳魚（2007年級群）と思われる群が主体であった。三本のゴマサバは、27cmモードの2歳魚（2007年級群）と思われる群が主体で25cm以下の個体も混じった。また、25～30cm前後のオアカムロも混獲された。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

| 期 間     | 水揚量(トン) |      | 水揚<br>日数 | 水揚<br>隻数 | 水揚/隻(トン) |      | 単価(円/kg) |      | 漁 場       |
|---------|---------|------|----------|----------|----------|------|----------|------|-----------|
|         | マサバ     | ゴマサバ |          |          | マサバ      | ゴマサバ | マサバ      | ゴマサバ |           |
| 21年2月上旬 | 7       | 93   | 3        | 7        | 1.0      | 13.3 | 518      | 62   | ひょうたん瀬 三本 |
| 中 旬     | 60      | 134  | 4        | 14       | 4.3      | 9.6  | 525      | 82   | ひょうたん瀬 三本 |
| 下 旬     | 107     | 14   | 5        | 15       | 7.2      | 0.9  | 415      | 92   | ひょうたん瀬 三本 |
| 21年2月計  | 174     | 241  | 12       | 36       | 4.8      | 6.7  | 457      | 75   | —         |
| 20年2月   | 0       | 882  | 9        | 24       | 0.0      | 36.8 | 315      | 96   | 三宅、三本     |
| 19年2月   | 230     | 540  | 14       | 39       | 5.9      | 13.9 | 236      | 53   | 三本、三宅     |

- \* 水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。
- \* 20年2月には15kgのマサバ水揚げがあったので、単価のみ記載。

### 【まき網】

小川港ではマイワシが8.9トンの水揚げで平年同期（25.9トン）の34%であった。沼津港ではマイワシが62.1トンの水揚げで平年同期（57.9トン）の107%であり、カタクチイワシの水揚げはなかった（平年同期は2.3トン）。静浦港ではマイワシの水揚げはなく（平年同期は水揚げなし）、カタクチイワシの水揚げもなかった（平年同期6.5トン）。伊東港ではマイワシの水揚げはなかった（平年同期0.2トン）。

平年同期：過去5か年（2003～2007年）平均

### 【調査船の動向】

駿河丸

|    |     |   |    |     |                    |       |
|----|-----|---|----|-----|--------------------|-------|
| 2月 | 2日  | ～ | 2月 | 4日  | 地先定線観測調査           | (3日間) |
| 2月 | 12日 | ～ | 2月 | 13日 | サクラエビ IKMT 調査      | (2日間) |
| 2月 | 18日 | ～ | 2月 | 18日 | 静岡大学深層水調査          | (1日間) |
| 2月 | 19日 | ～ | 2月 | 20日 | 駿河湾短期海況変動調査、タチウオ調査 | (2日間) |
| 2月 | 25日 | ～ | 2月 | 25日 | シラス調査              | (1日間) |
| 2月 | 27日 | ～ | 2月 | 27日 | シラス調査              | (1日間) |

### 静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

